

現場から避難してくる人がいなくなった後、海の方を見ると、海水が引いて普段は見えない海底が見えた。すぐに高台に避難し、海の状況を監視していると、壁のような津波が発電所に押し寄せてきた。津波は防波堤を破壊して、取水ポンプ付近まで到達。次に押し寄せた津波によって、取水ポンプは飲み込まれた。重油タンクは破壊され、重油が海に漏れ出していた。サブプレッションプール水サージタンクの側面は押し潰されて変形、海側に駐車していた車は波に飲み込まれた。海には津波で流された重油タンクが漂っていた。

- ・ 11日 15:42, 原子力災害対策特別措置法（以下、「原災法」）の第10条事象『所内全交流電源喪失』に該当すると判断し、官庁等へ通報。
- ・ 11日 16:36, 1,2号機の原子炉水位が確認できず、注水状況が不明なため、原災法の第15条事象『非常用炉心冷却装置注水不能』に該当すると判断。16:45に官庁等に通報。



約10mの防波堤を破壊して押し寄せる津波



津波により1~4号機全域が浸水



津波で変形したタンク
(上の写真の右のタンクと同一)



津波襲来後の海側の状況

【中央制御室の状況】

<1,2号機中央制御室>

- ・ 11日 15:34, 地震によるスクラム対応や警報確認が一段落し、落ち着きを取